「世界のカテーテル固定具市場2022年－2031年：製品タイプ別（CVC固定具、PICC固定具、腹部固定具、胸部ドレナージチューブ固定具）」調査レポート（市場規模・動向・予測）を取り扱い開始しました

2022年9月27日
株式会社マーケットリサーチセンター

株式会社マーケットリサーチセンター（本社：東京都港区、世界の市場調査資料販売）では、「世界のカテーテル固定具市場2022年－2031年：製品タイプ別（CVC固定具、PICC固定具、腹部固定具、胸部ドレナージチューブ固定具、その他）」調査資料の販売を2022年9月27日
に開始いたしました。カテーテル固定具市場規模、動向、予測、関連企業の情報などが盛り込まれています。

■レポートの種類：グローバル市場調査レポート
■レポートのタイトル：世界のカテーテル固定具市場2022年－2031年：製品タイプ別（CVC固定具、PICC固定具、腹部固定具、胸部ドレナージチューブ固定具、その他）
■英文タイトル：Catheter Stabilization Devices Market （Product Type: CVC Stabilization Devices, PICC Stabilization Devices, Abdominal Stabilization Devices, Chest Drainage Tube Stabilization Devices, and Others） - Global Industry Analysis, Size, Share, Growth, Trends, and Forecast, 2022-2031
■発刊日：2022年9月5日
■出版社：Transparency Market Research（トランスペアレンシーマーケットリサーチ）
■レポート形態：PDF（Eメールによる納品）

■主な掲載内容
カテーテル固定具は、尿道外傷を防ぐために尿道留置カテーテルを固定するために使用されます。固定されていないカテーテルの使用によって引き起こされる合併症のリスクを最小化するのに

役立つ場合があります。カテーテル固定具の種類には、末梢固定具、持続神経ブロックカテーテル固定具、動脈固定具、胸腔ドレナージチューブ固定具、硬膜外固定具、気管内チューブカテーテル固定具があります。これらの器具は、偶発的かつ意図しない尿道カテーテルの抜去を防止し、膀胱への損傷を回避することができます。
カテーテル固定具は、縫合糸、無縫合糸、テープおよびドレッシングの3つに大別されます。縫合糸は、非トンネル型中心静脈アクセスデバイスの固定や安定化に広く用いられています。最新の無縫合安定化/確保器具は、接着剤を使用してカテーテルを皮膚に安定化させます。これらは一般に、主要な接触保持領域としてカテーテルハブ縫合糸ウィングに依存しています。StatLockデバイスは、最も一般的に使用されている無縫合カテーテル固定具です。このフォーリー安定化装置は、フォーリーカテーテルを所定の位置にロックすることで、突然の引き抜きの可能性を排除するものです。固定方法は、デザインノッチとドレッシングのみの場合は強化不織布の裏打ちを使用します。これにより、安定化の効果を最大限に高めることができます。しかし、専用の硬性固定具と比較すると、固定力は低くなります。

在宅治療を希望する透析患者の増加により、在宅環境での血液透析用カカテーテル固定具の需要が高まっています。フレゼニウス・メディカル・ケア社のレポートによると、2015年には北米で21%、アジア太平洋で11%、ラテンアメリカで12%の患者が在宅透析を選択しました。そのため、透析機器メーカーは、在宅環境でのカテーテル治療の利用をサポートするために、自己透析システムやサービスの開発を進めています。医療関係者は、入院費用と期間を削減し、HAIのリスクを回避するために、自己カテーテルを推奨しています。

世界の人口の多くは、がん、脳卒中、糖尿病、心拍異常など、さまざまな種類の慢性疾患に苦しんでいます。世界保健機関（WHO）によると、年間約4,100万人が慢性疾患により死亡しています。これは、全世界の死亡者数の74%に相当します。慢性疾患の患者さんは、治療中にカテーテル治療を必要とすることが多いのです。
ライフスタイルに関連する疾患の有病率の増加が、世界のカテーテル固定具市場の活性化につながっています。心血管疾患や虚血性心疾患は、肥満、運動不足、脂質異常症、糖尿病、タバコなどが原因で起こります。心血管疾患は、虚血性心疾患とともに、世界の主要な死因となっています。WHOによると、非感染性疾患による年間死亡者数は、心血管疾患が最も多く（1790万人）、次いでがん（930万人）、慢性呼吸器疾患（410万人）、糖尿病（糖尿病による腎臓病死亡を含む200万人）です。

カテーテル固定具の世界市場は、製品タイプ別に、CVC安定化デバイス、PICC安定化デバイス、腹部安定化デバイス、胸部ドレナージチューブ安定化デバイス、その他に分類されます。2021年の市場では、CVC安定化デバイスのセグメントが主要なシェアを占めています。CVC安定化デバイスは、心血管疾患の治療中に血管作動性薬物および薬剤の投与を可能にする中心静脈カテーテル（CVC）を固定するために使用されます。心血管カテーテル治療のコースは、患者の股間や首の供給ルートや静脈にカテーテルを入れ、静脈を通って心臓に至る経路を確保することを含みます。

カテーテル固定具の世界市場は、エンドユーザー別に、病院・ASC、診断センター・クリニック、在宅医療、その他に区分されています。病院・ASC分野は、各国のASC数の増加により、予測期間中、市場を支配すると予想されます。

2021年のカテーテル固定具の世界市場は、北米が圧倒的なシェアを占めています。同地域の市場は、慢性疾患の発生率の増加や老年人口の増加により、2022年から2031年にかけて急激なCAGRで成長すると予測されています。米国では、慢性腎臓病が成人の間で一般的です。米国疾病対策予防センターの2021年の推計によると、米国の成人の7人に1人以上、すなわち15%が慢性腎臓病を患う可能性があるとされています。

予測期間中、欧州は同市場の第2位のシェアを占めると予想されます。同市場の成長は、同地域における心血管疾患の有病率の上昇に起因していると考えられます。欧州慢性疾患同盟によると、心血管疾患は欧州で390万人の死亡を引き起こし、EUでは年間180万人以上が死亡しています。また、欧州の全死亡者の45%、EUの全死亡者の37%が心血管疾患によるものです。ドイツは、メーカーによる研究開発活動への投資の増加、医療費の上昇、同国における新興プレイヤーの存在に牽引され、2021年の欧州における市場の主要シェアを占めています。

■レポートの詳細内容はこちら
https://www.marketresearch.co.jp/data1/catheter-stabilization-devices-market-product-type-cvc-stabilization-devices/

■レポートに関するお問い合わせ・お申込みはこちら
https://www.marketresearch.co.jp/contacts/

■調査会社Transparency Market Research（トランスペアレンシーマーケットリサーチ）について
https://www.marketresearch.co.jp/Transparency－Market－Research/
株式会社マーケットリサーチセンターはTransparency Market Researchの日本での正規販売代理店です。

■株式会社マーケットリサーチセンターについて
https://www.marketresearch.jp
主な事業内容：市場調査レポート販売、市場調査サービス提供
本社住所：〒105－0004 東京都港区新橋1－18－21
TEL：03－6161－6097 FAX：03－6869－4797
マーケティング担当 marketing@marketresearch.co.jp

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com